

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：英語）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 1 時間 30 分】

以下の英文を日本語として意味が通るように、制限時間内で、できるだけ多く
翻訳してください。

（出典：The Economist）

Scientific research has changed the world. Now it needs to change itself

<著作権の関係上、掲載しておりません。>

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

公共政策プログラム志望者用

参考資料 1 は 2013 年 6 月 14 日に閣議決定された「日本再興戦略－JAPAN is BACK－」の一部であり、アクションプランの一つ「日本産業再興プラン」の「雇用制度改革・人材力の強化」（29－38 頁）です。安倍内閣の雇用問題に関する現状認識・政策目標を整理したうえで、それらを実現する対策について賛否を論じなさい。

参考資料出典：

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/saikou_jpn.pdf

<著作権の関係上、掲載しておりません。>

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

開発政策プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

<問題 1>

東南アジアの大都市の交通問題について、以下の問いに答えよ。

- (1) 人口、一人当たり所得、自動車保有率の時系列変化の観点から、東南アジアの大都市と欧米の大都市の差異を論ぜよ。
- (2) 乗用車やバイクが急増する一方で、都市鉄道の整備が遅れると都市構造にどのような影響を及ぼすかについて論ぜよ。
- (3) 都市鉄道を PFI で整備すべしとの意見があるが、それが成功する可能性と失敗する可能性を考え、それぞれの要因を列挙して論ぜよ。

<問題 2>

高規格幹線道路のミッシングリンクについて以下の問いに答えよ。

- (1) 整備の意義・効果を列挙し、それらを説明せよ。
- (2) 上記整備の評価に関する課題およびその対応策を論ぜよ。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

地域政策プログラム志望者用

<問題>

わが国では少子高齢化が引き続き急速に進んでいるとともに、総人口が減少する局面に入っているが、こうした状況は当然ながら地方公共団体の行財政運営にも影響を及ぼすことになる。そこで、このような状況下における地方公共団体の短期的課題と長期的課題をそれぞれ 1 つずつ挙げ、それらにどのように対処すべきか、あなたの考えを述べなさい。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

文化政策プログラム志望者用

次の問題 1～4 の中から 1 問を選んで解答してください。

1. 「文化政策」を定義し、現状と課題について述べなさい。
2. 文化芸術は、国や地方自治体などによる公的な支援のみならず、民間企業や NPO、関心のある人々など多様な主体により支援を受けている。任意の分野・対象を選び、支援の現状とそれぞれの役割について述べなさい。
3. 日本における文化施設の現状と課題について、指定管理制度や「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」などの法制度に触れつつ、述べなさい。
4. グローバル化する社会における文化政策の現状と課題について、ユネスコにおける「文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約」に触れつつ、述べなさい。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

まちづくりプログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

<問題 1>

2013 年 7 月に初めて月間訪日観光客数が 100 万人を突破したという報道がなされた。観光は人口減少社会を迎えた我が国においても有望な成長産業とされているが、政府はいかなる観点からこれに介入することが望ましいか。国の役割、地方自治体の役割に分けてあなたの考えを述べなさい。

<問題 2>

ここ数年、生活保護費の受給者が、生活保護費をパチンコなどで支出する行為が問題視されている。そこで、現金支給ではなく、バウチャーなどによる現物支給による生活保護が議論されている。高校の授業料無償化は一つの現物支給の形であるが、年金は現金支給の形がとられている。そこで、生活保護、教育支援、年金などの個人への所得移転に関して、現金支給が望ましいか、現物支給が望ましいか、あなたの考えを理由とともに述べなさい。（所得移転に関する一般論でもよいし、生活保護は現物支給、年金は現金支給が望ましい、なぜならば・・・という答え方でもよい。）なお、本問は考え方の論理性を評価するものであり、どちらの立場を取るかによって評価が変わることはない。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

教育政策プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

＜問題 1＞

学校での体罰

アメリカ 50 州の中で学校での体罰を法律で禁止しているのは約半数であり、世界全体を見ても、多くの国が学校での体罰を認めています。

しかしそうした体罰とは、校長の前で裁判的な手続きが踏まれ、対象児童生徒にも弁明の機会が与えられた上で、体罰担当の教員が冷静に体罰を加えるというものであり、日本で体罰と呼ばれているもの（不適切な行為を見た教員自身が、何らの手続も経ることなく、その場で加えるもの）とは本質的に異なります。

日本で体罰と呼ばれているものの多くは単なる暴力であり、「警察官がかつとして容疑者を射殺する」（死刑とは本質的に異なる）ということに相当するものです。他方、いわゆる体罰を「必要悪」として容認すべきとする意見も日本にはありますが、それならば、正当な手続を経て学校教育法を改正する（法律ルール上も「悪」ではないものとする）べきだという意見もあります。

このような状況を踏まえ、日本における今後の体罰のあるべき姿について（現行の学校教育法は改正しないという前提には立たず）、あなたの考えを述べてください。

（注：考えの内容・方向性そのものが、評価に影響することはありません。）

＜問題 2＞

地域による学校支援

教育政策では、近年、学校と家庭・地域の連携が重要な課題とされ、それを促すために、教育基本法、学校教育法、社会教育法が改正され、また、学校支援地域本部事業の全国的な展開が図られるなどしてきています。

しかし、学校現場からは、地域の協力により充実した活動ができたなどの肯定的な意見がある一方で、かえって地域と調整・話し合いに時間がとられるなどの否定的な声もあるようです。

あなたは、地域による学校への支援を、円滑で効果的に実施するためには、どのような点が課題になると思いますか。また、それに対して、どのような配慮、工夫が必要となると考えますか。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 1 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 25 年 11 月 13 日実施

【制限時間 2 時間】

防災・復興・危機管理プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

5. 先般の台風 26 号により伊豆大島が被害を受けましたが、多くの犠牲者が出た要因は何だと考えますか。また、この事例を通じて学んだ教訓及び課題について記述してください。

6. 首都直下地震や南海トラフによる自身の発生が懸念されています。これらの巨大地震に対して、どのような課題があるか、また、それを解決するにはどうすべきか、できるだけ具体的に記述してください。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：英語）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 1 時間 30 分】

以下の英文を、日本語として意味が通るように、制限時間内にできるだけ多く翻訳してください。

（出典：Japan Times (Jan 23, 2014)）

Japan's economy strong enough to weather tax hike storm

<著作権の関係上、掲載しておりません。>

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

公共政策プログラム志望者用

参考資料 1、2 はそれぞれ 2013 年 1 月 28 日と 2014 年 1 月 24 日の安倍内閣総理大臣による所信表明演説です。政権発足当時との比較において、安倍政権の問題認識・政策目標を論じたうえで、少なくとも二つの政策分野について、具体的な改善策を検討しなさい。

参考資料出典：

参考資料 1

http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement2/20130128syosin.html

参考資料 2

http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement2/20140124siseihousin.html

<著作権の関係上、掲載しておりません。>

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

開発政策プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

<問題 1>

国道の維持管理に関する民間企業への発注の契約方式として、① 巡回、路面舗装管理（わだち掘れ、ひび割れなど）、除草、清掃などの包括、複数年の性能規定型契約、② 完工後の複数年性能保証付き建設工事契約が、試行的に行われている。このことに関して以下の問いに答えよ。

- (1) 上記①のような異なる作業は従来別々に発注し、落札者と契約していた。これらを組み合わせてひとまとまりの事業として契約するメリットについて論ぜよ。
- (2) 上記①の試行事業には、数 km を対象にしたものから 50～60km を対象にしたものまで様々であり、契約期間も 5 年の契約から複数年ではなく 1 年の契約までである。試行としてなぜこのような幅があるかについて想像して論ぜよ。
- (3) 作業内容を規定する「仕様規定型契約」と、性能を満たせば作業方法などを自由に選べる「性能規定型契約」との、長所と短所について論ぜよ。
- (4) 舗装に関し、上記①で路面の維持管理のみを契約する場合と、②で路盤までの改築と維持管理とを一括契約とする場合を比較して、その優劣を論ぜよ。

<問題 2>

インバウンド（訪日外国人旅行者誘致）政策について、以下の問いに答えよ。

- (1) 現在、観光庁が中心となってインバウンド政策が進められており、昨年、訪日外国人旅行者数が史上初めて 1,000 万人を超えることとなった。訪日外国人旅行者数を増加させる意義やメリットを、文化交流、経済効果、地域の活性化などの視点から論ぜよ。
- (2) 今後、訪日外国人旅行者数をさらに増やしていくためには、より多くの国から訪日してもらうことが重要となる。国・地域によって、緯度、面積、経済状況、宗

教などが異なるため、日本における観光行動が国・地域毎に異なることが知られている。観光行動が異なる国・地域を3～4つ挙げ、それらの観光行動の特徴を述べよ。

- (3) 訪日外国人旅行者数増加に向けては、上記に加えリピーターを増やしていくことも重要である。訪日回数によっても観光行動が異なるため、それらを考慮した戦略が必要となっている。訪日外国人旅行者の初訪日とリピーターとの観光行動の違いを述べよ。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

地域政策プログラム志望者用

＜問題＞

文部科学省の中央教育審議会は、平成 25 年 12 月 13 日に取りまとめた「今後の地方教育行政の在り方について」の答申の中で、地方公共団体の教育委員会制度に関する改革案を提言した（参考資料を参照）。

そのポイントは、①教育に関する事務執行の責任者を教育長とし、首長が定める大綱的な方針に基づいて事務を執行する、②首長は、教育委員会の議を経て教育に関する大綱的な方針を定めるが、教育長の事務執行について日常的に指示は行わない、③教育委員会は首長の特別な附属機関とし、地域の教育のあるべき姿等を審議するとともに、教育長の事務執行を住民目線による第三者的立場からチェックする、などである。

この改革案について、教育委員会が首長から独立した執行機関である行政委員会として置かれてきた趣旨も踏まえた上で、賛成の立場または反対の立場から論じなさい。

なお、賛成、反対どちらの立場に立つかは、採点に影響するものではない。

（参考資料）

今後の地方教育行政の在り方について（答申）

（平成 25 年 12 月 13 日 中央教育審議会）（抜粋）

＜著作権の関係上、掲載しておりません。＞

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

まちづくりプログラム志望者用

次の問題 1～3 の中から 1 問を選んで解答してください。

問題 1

「従業員の労働意欲を向上させるために、事業成果に基づいて賃金や人事を決めるべきである（成果主義）」という意見がある。この意見に賛成か反対か立場を示し、理由づけをしながら論じなさい。なお、本問いは考え方の論理性を評価するものであり、どちらの立場をとるかによって評価が変わることはない。

問題 2

観光振興や渋滞解消などを目的に、地域ごとに実施時期をずらした「分散型の大型連休」導入や、祝日を減らす代わりに年次休暇の取得を促進することなどが考えられる。それぞれのメリット・デメリットを列挙しつつ、あなたの意見を述べなさい。

問題 3

多くの自治体において税制優遇をはじめ様々な企業誘致策が実施されている。こうした取り組みの有効性及び課題について論じなさい。論じる際には具体的な自治体の取り組みについて取り上げなさい。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

知財プログラム志望者用

次の問題 1～3 の中から 1 問を選んで解答してください。

問題 1

「従業員の労働意欲を向上させるために、事業成果に基づいて賃金や人事を決めるべきである（成果主義）」という意見がある。この意見に賛成か反対か立場を示し、理由づけをしながら論じなさい。なお、本問いは考え方の論理性を評価するものであり、どちらの立場をとるかによって評価が変わることはない。

問題 2

観光振興や渋滞解消などを目的に、地域ごとに実施時期をずらした「分散型の大型連休」導入や、祝日を減らす代わりに年次休暇の取得を促進することなどが考えられる。それぞれのメリット・デメリットを列挙しつつ、あなたの意見を述べなさい。

問題 3

特許制度は、発明者に当該発明の内容を公衆に公開させることと引き替えに、一定期間、当該発明を独占実施させて研究開発コストの回収を許容することにより、民間の研究開発競争を促すことを趣旨としている。

日本国特許庁になされた特許出願の内容は、出願日の 1 年 6 ヶ月後に公開され、インターネット上でも、世界中からアクセスが可能となる。これにより、世界中のライバル企業が、特許出願の内容を知ることができるようになる。

一方、日本国特許庁に特許出願を行えば、日本の特許権を取得することはでき、日本国内での独占権を獲得できるが、外国特許庁に特許出願をしていなければ、当該外国での特許権を取得できず、外国での独占権も獲得することができない。

このようなことによって考えられる問題点を指摘し、その問題点を克服するためには、政府・企業がどうすれば良いかについて、あなたの意見を述べなさい。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

教育政策プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

問題 1

ある県の知事が教育委員会に対して、学力テストで成績の悪かった学校の校長名を公表するよう要請したことが、賛否の論議を巻き起こしましたが、この論議については、次のような異なる問題・側面が、混同されて議論されていました。

- ・「目標」の適切性に関する問題
学校教育の目標は、学力テスト（で測れることに関する）の成績向上だけなのか？
- ・「手段」の有効性に関する問題
成績下位校の校長名公表は、学力テストの成績向上という目標の達成について、本当に有効なのか？
- ・「校長の権限（責任）」に関する問題
校長には、学力テストの成績を向上させることができるような、権限（手段）が与えられているのか？
- ・「知事と教育委員会の関係」に関する問題
知事は教育委員会の政策・施策について、どの程度介入すべきなのか？

上記のことを参考にしつつ、自治体全体としての「学力テストの成績向上」という目標を達成する上で、知事・市長などの首長が行い得る（「必要な環境整備をする」「必要な財政措置を行う」などといった抽象的なものではなく）具体的かつ有効な方策を、提言してください。

なお、この問いにおける「達成すべき政策目標」は、便宜上「自治体全体としての学力テストの成績向上」に限定します。

（注：提言の内容・方向性そのものが、評価に影響することはありません。）

問題 2

文部科学省は2013年9月に、教育委員会制度の見直し案を中央教育審議会（文科相の諮問機関）の教育制度分科会に示しました。このことについて、以下のような報道がなされました。

＜著作権の関係上、掲載しておりません。＞

出典：東書Eネット「教育・文化ニュース」2013年9月26日

<http://ten.tokyo-shoseki.co.jp/news/detail.php?newsId=20130926170129>

あなたは、教育委員会制度について上記2案のどちらに立つか、理由を挙げて述べてください。また、どちらの案にも立たない場合は、あなたが考える教育委員会制度の在り方を、理由を挙げて述べてください。（この問題は、知識及び論理の一貫性を評価するものであり、論じる立場によって評価が変わることはありません）。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

防災・復興・危機管理プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から、1 問を選んで解答してください。

問題 1

あなたにとって記憶に残る災害は何ですか。
また、その災害からどのような教訓を感じますか。

問題 2

危機管理にとって大切だと思うことを述べてください。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 2 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 2 月 12 日実施

【制限時間 2 時間】

科学技術イノベーション政策プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から、1 問を選んで解答してください。

問題 1

「科学技術イノベーション政策」群を構成する様々な政策（一般名称でも可）を可能な限り列挙し、それらの政策の対象および政策目標について記述せよ。また、それらに適切な分類軸とカテゴリーを適用して分類せよ。分類方法については単一の解ではなく、なるべく多くの視点に基づいた複数の分類方法を示すこと。（すなわち、「科学技術イノベーション政策とは何か」を問う定義の問題である）

問題 2

我が国において科学技術外交が政策として本格的に議論され始めて 10 年近くなる。一般的に言われている科学技術外交の 3 つの類型として「Diplomacy for Science」「Science for Diplomacy」「Science in Diplomacy」があるが、それぞれについて事例を使い概念の説明をせよ。

我が国における科学技術外交は、上の類型では主にどれに当てはまるのか（複数可）。また、我が国における科学技術外交における課題を論ぜよ。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 3 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：英語）

平成 26 年 3 月 6 日実施

【制限時間 1 時間 30 分】

以下の英文を、日本語として意味が通るように、制限時間内にできるだけ多く翻訳してください。

(Guardian, Monday 17 February 2014)

Loneliness is killing us - we must start treating this disease

<著作権の関係上、掲載しておりません。>

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 3 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 3 月 6 日実施

【制限時間 2 時間】

開発政策プログラム志望者用

巨大都市の都市交通に関する以下の問いに答えよ。

- 1) 都市の道路網には、都市高速、幹線道路、補助幹線、区画街路からなる階層性が必要とされている。その理由について説明せよ。
- 2) 東京の都市鉄道は、通勤に使われる新幹線、近郊型電車と通勤電車、急行・快速電車と普通電車、モノレールや新交通システム、路面電車などにより、階層的ネットワークとなっている。巨大都市では鉄道網も階層性が必要な理由について説明せよ。
- 3) 鉄道ネットワーク密度、階層性、高頻度運転、相互直通運転などによる利便性と信頼性により、東京圏の都市鉄道は高い評価を受けてきた。最近、車内混雑率の改善がなされてきた半面、遅れが頻発し、他路線まで波及したり、遅れの解消に昼過ぎまでかかったりする場合も多い。このような問題が生じるようになった理由と対策について論ぜよ。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 3 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 3 月 6 日実施

【制限時間 2 時間】

まちづくりプログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から 1 問を選んで解答してください。

問題 1

今後、日本にとって、より幸福な社会を実施していくためには、大都市を中心とした都市集中型の都市構造と、均衡ある発展による分散型都市構造とで、どちらを実現することが望ましいか。考えるところを述べよ。ただし本問は、論理的な思考・推論のプロセスを問うものであり、どのような立場にあるかは採点に影響を与えない。

問題 2

「電車における通勤ラッシュ緩和を目的として、ラッシュ時の運賃を上げ、ラッシュ時以外の運賃を下げるべきである」という意見がある。この意見に賛成か反対か立場を示し、理由づけをしながら論じなさい。なお、本問いは考え方の論理性を評価するものであり、どちらの立場をとるかによって評価が変わることはない。

平成 26 年度修士課程国内プログラム（第 3 回）入学者選抜試験
第 2 次審査（筆記試験：論文）

平成 26 年 3 月 6 日実施

【制限時間 2 時間】

防災・復興・危機管理プログラム志望者用

次の問題 1～2 の中から、1 問を選んで解答してください。

問題 1

あなたの地域にとり 2011 年の東日本大震災からの教訓で役に立つと思われるものは何か、またそれをどう役立てればよいかを具体的に記述しなさい。

問題 2

危機管理業務に携わる際の心構えとして、どのようなことが重要だと思うか、述べてください。